

2021年6月4日

会員各位

公益社団法人 関西経済連合会
会長 松 本 正 義

新型コロナワクチンの職域接種にかかるご協力のお願い

平素は当会事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先日、国において、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する地域の負担を軽減し、接種の加速化を図る観点から、企業等の職域単位でのワクチン接種を開始するとの方針が示されました。これを踏まえ、本日大阪府吉村知事より、職域におけるワクチン接種の推進にかかる協力要請がありました。

当会としては、企業として持てるリソースを生かしながら、少しでもワクチン接種の加速に貢献できればと考えております。わが国がコロナ禍から早期に脱却を果たすために、会員各社におかれましては、下記の内容にしたがい、職域接種の実施について、是非とも前向きで迅速なご検討をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 大阪府および国の方針

別紙1：新型コロナウイルスワクチンの職域接種について（大阪府）

別紙2：新型コロナワクチン職域接種について（国）

2. 会員企業へのご協力依頼

・条件が整い得る事業所におかれては、できる限り早期の実施（可能なら6月21日から）について、ご検討をお願いします。

【企業等の主な役割】

＜企業内の産業医を活用した接種の場合＞

- ・医療従事者の拡充
- ・診療所開設許可等（許可を受けていない場合）
- ・接種会場の確保（診療所で対応不可の場合）
- ・被接種者のとりまとめ
- ・接種費用請求事務
- ・ワクチンのオーダー・保管
- ・国システムの登録・実績入力
- ・ワクチン保管設備の確保 等

<健診機関（医療機関）等の活用による職場接種の場合>

- ・医療機関の確保
- ・接種会場の確保
- ・被接種者のとりまとめ
- ・ワクチン保管設備の確保 等

<外部の提携先の医療機関での接種の場合>

- ・提携医療機関との調整
- ・被接種者のとりまとめ 等

3. 説明会について

- ・関経連としては、来週、大阪府の協力を得て企業向け説明会を開催する予定です。詳細については別途ご案内いたしますので、積極的にご参加ください。

<本件にかかる問合せ先> 地域連携部 sesshu@kankeiren.or.jp

※現在、関経連事務局は原則在宅勤務体制となっておりますため、当面、代表電話等へのお問合せはお控えいただき、上記メールアドレスにメールにてご質問事項等を送付いただきますようお願い申し上げます。

以 上

ワ接第241号
令和3年6月4日

公益社団法人 関西経済連合会
会長 松本 正義 様

大阪府知事 吉村 洋文

新型コロナウイルスワクチンの職域接種について（依頼）

平素は本府行政の推進にご協力いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図るため、現在、希望するすべての高齢者（65歳以上）へのワクチン接種の7月末までの完了に向けて、国、自治体、医療関係者が一丸となって取り組んでいるところです。

こうした中、国において、ワクチン接種に関する市町村の負担を軽減し、接種の加速化を図っていくため、企業や大学等における職域単位でのワクチン接種を6月21日から開始することとされたところです。

つきましては、貴会員に周知いただくとともに、職域接種の推進に向けご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

また、府としましても、新たに「職域接種サポートチーム」を設置するとともに、専用ページを作成しましたので、お知らせいたします。

○大阪府HP

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kansensho/vaccine/coronasyokuiki.html>

お問い合わせ先

大阪府健康医療部ワクチン接種推進課（職域接種担当）

【連絡先】

T E L : 06-6941-0351 内線 2077、4715

F A X : 06-4397-3242

Email: vaccine-g04@gbox.pref.osaka.lg.jp

※メールアドレスは、6月7日から使用可能となります。

新型コロナウイルスワクチンの 職域接種について

令和3年6月4日 大阪府

職域接種に係る国の方針（概略）

- ワクチン接種の加速化を図るため、6月21日から企業や大学等において、職域単位での接種を開始する
（7月末までに高齢者への接種が完了する見込みのある自治体は、前倒し可能）
- モデルナワクチンを使用する
- 企業や大学において、必要な医療従事者や会場などを自らで確保することが前提
（自治体による高齢者等への接種に影響を与えない）
- 企業単独での実施のほか、中小企業が商工会議所等を通じて共同で実施することや、大学等が学生を対象に含めて実施することも可能
- 接種券がなくても接種可能とする

【その他国における検討事項】

- ・接種に必要なフリーザーやワクチン、シリンジ及び注射針は、国が準備し、事前に接種会場に届ける
- ・同一会場において、2回の接種を実施
- ・接種対象となる企業の関係者は、社員等（雇用形態によらず、企業において本人確認が行える者）及び社員の家族等を想定

職域接種の企業・国・自治体の主な役割（府想定）

職域接種のパターンと企業における主な役割

接種方法	法上の接種主体	設置主体	接種費用の請求	企業等における主な役割
企業内の産業医を活用した接種 ※診療所開設届未提出含む	関係市町村	企業	企業（診療所）が所在の市町村に請求（住所地外の場合は都道府県国保連に請求）	- 医療従事者の拡充 - 診療所開設許可等（許可を受けていない場合） - 接種会場の確保（診療所で対応不可の場合） - 被接種者のとりまとめ - 接種費用請求事務 - ワクチンのオーダー・保管 - 国システムの登録・実績入力 - ワクチン保管設備の確保 等
健診機関（医療機関）等の活用による職場接種	同上	医療機関	医療機関が所在の市町村に請求（住所地外の場合は都道府県国保連に請求）	- 医療機関の確保 - 接種会場の確保 - 被接種者のとりまとめ - ワクチン保管設備の確保 等
外部の提携先の医療機関での接種	同上	医療機関	医療機関が所在の市町村に請求（住所地外の場合は都道府県国保連に請求）	- 提携医療機関との調整 - 被接種者のとりまとめ 等

国の役割

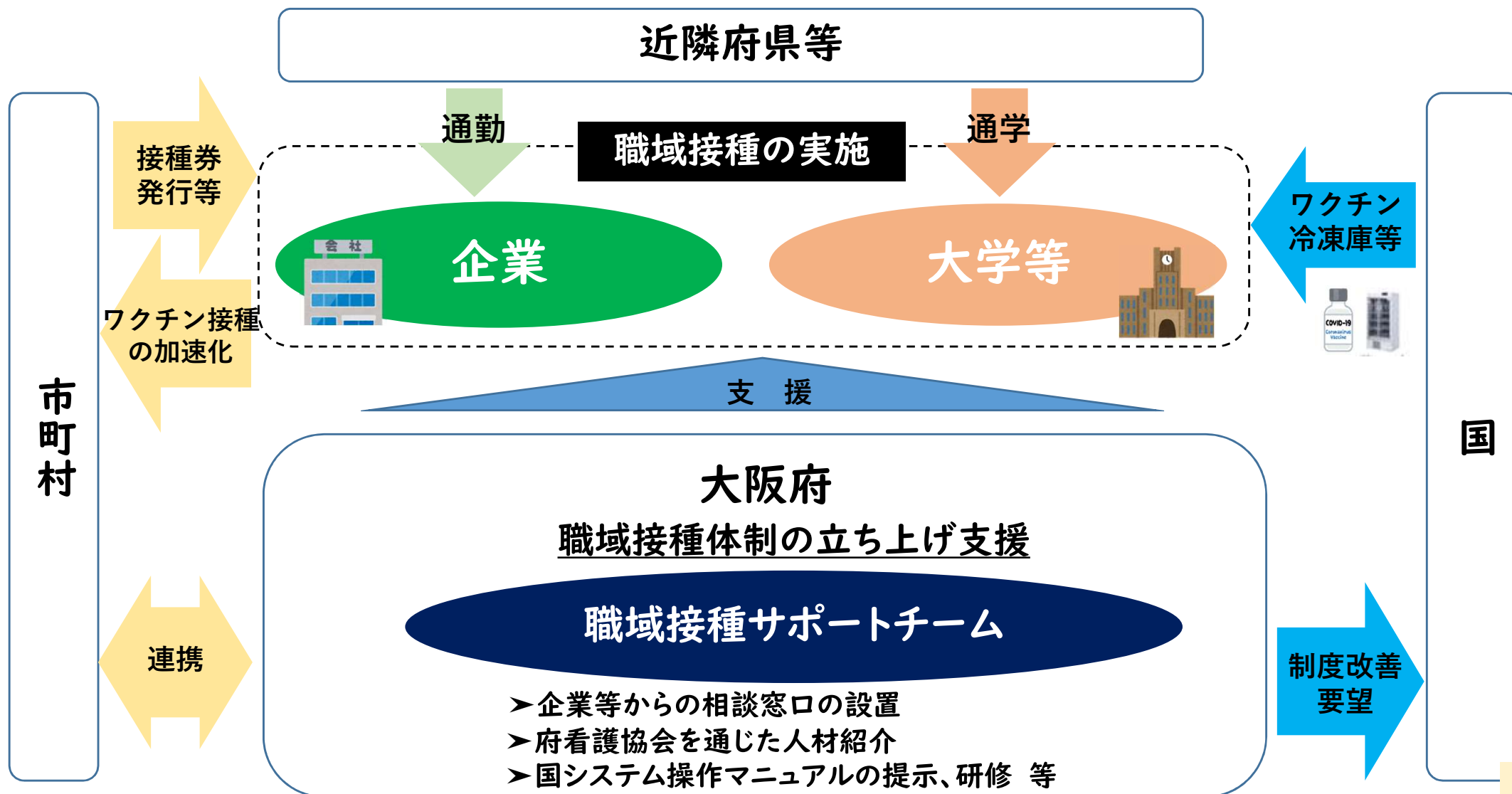
- ワクチン、シリンジ及び注射針などの提供
- フリーザーの貸与

府・市町村の役割

- 職域接種サポートチームの設置
- 国システム操作マニュアルの提示等
- 必要な制度改善に関する国への要望
- フリーザーの配置調整
- 接種負担金 1件あたり2,070円（税抜）の支給

職域接種の推進について(全体イメージ)

- 職域接種を推進することにより、府民へのワクチン接種の加速化を図る
- 加えて、人・企業が集積する大阪において近隣府県在住の社員等についてもワクチン接種を実施
- 企業や大学等における職域接種の推進に向け、「職域接種サポートチーム」を設置



■河野大臣発言（6月2日）

まずは、1000人以上の企業から職域接種をスタートしたい。

■府内の従業者1000人以上の事業所数

→ 112事業所、約20万人

常用雇用者規模		事業所数	従業者数
総数		392,940事業所	4,393,139人
	うち1,000人以上	112事業所	202,332人

※専属の産業医の選任基準（労働安全衛生規則第13条）

常時千人以上の労働者を使用する事業場にあつては、その事業場に専属の者を選任すること。

参考：府内に本社等を有する従業者1000人以上の企業数（府外に勤務する者を含む）

→ 361企業、約126万人

常用雇用者規模		企業数	従業者数
総数		124,831企業	3,652,562人
	うち1,000人以上	361企業	1,267,147人

※各数値は、平成28年度経済センサス活動調査より抽出

別紙 2

新型コロナワクチン職域接種について

令和 3 年 6 月 4 日

パターン1 企業内診療所で実施

- ・対象は社員のみが基本（入館管理の都合等）
- ・接種体制は一時的

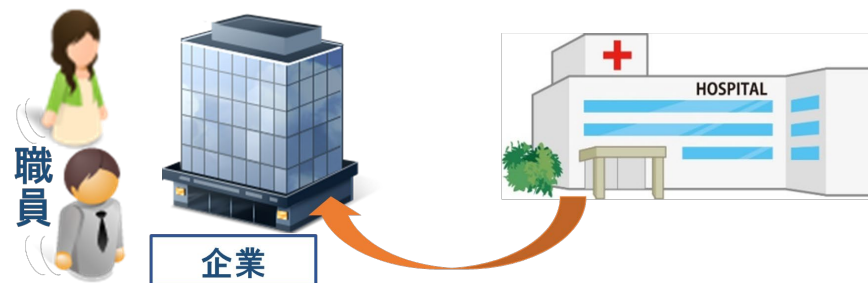
契約者：企業又は企業内診療所



パターン2 外部機関が出張して実施

- ・外部の医療機関が企業内の会議室などで実施
- ・実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い

契約者：医療機関（巡回診療所等）
※新規に医療機関を開設するケースも想定される



パターン3 外部機関に出向いて実施

- ・企業が指定した医療機関で実施
- ・実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い

契約者：医療機関（地域の医療機関）



職域接種とは

- （１）地域の負担を軽減し、接種の加速化を図るため、賛同する企業や大学等において職域単位での接種を可能とする。
- （２）医療従事者や会場などは企業や大学等が自ら確保し、自治体の接種事業に影響を与えないこと。

企業等に求めること

- （１）医師・看護師等の医療職の他、会場運営のスタッフ等、必要な人員を企業や大学等が自ら確保すること。
また、副反応報告などの必要な対応を行うことができること。
- （２）接種場所・動線等の確保についても企業や大学等が自ら確保すること。
- （３）社内連絡体制・対外調整役を確保すること。（事務局を設置すること。）
- （４）同一の接種会場で２回接種を完了すること、最低2000回（1000人×2回接種）程度の接種を行うことを基本とする。
- （５）ワクチンの納品先の事業所でワクチンを保管の上、接種すること。

企業等が行うこと（準備から接種までの流れ）

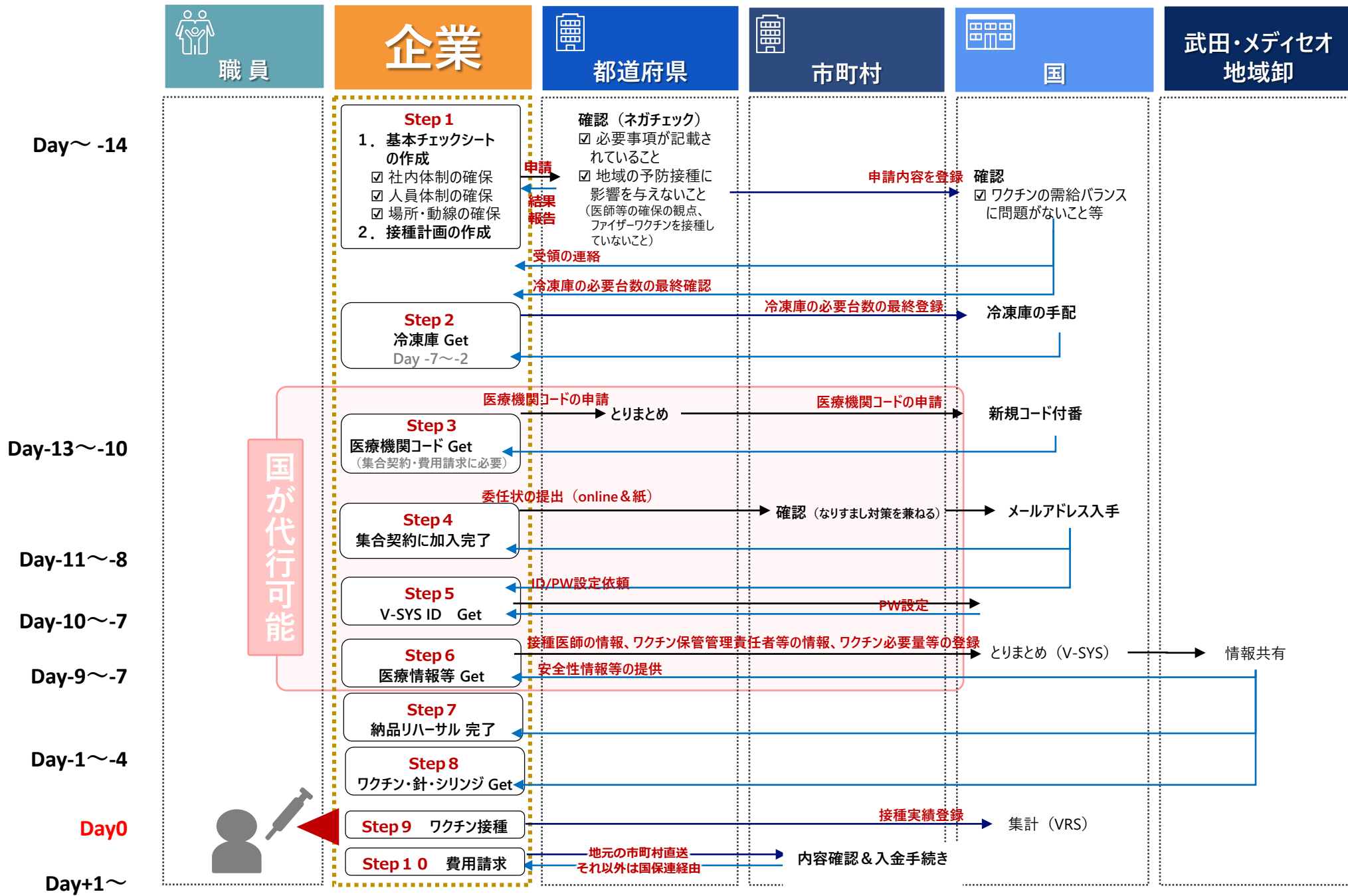
- ＜準備１＞ 上記企業要件の（１）、（２）、（３）を確保の上、接種計画を作成し、基本チェックシートを作成。
- ＜準備２＞ 基本チェックシートを都道府県に提出し、了承を得る。（地域の予防接種に影響を与えないことを確認）
- ＜準備３＞ 基本チェックシートを都道府県から厚労省に提出。

国が代行業務
(NEC)

- 市町村との集合契約に必要な医療機関コード付番申請する。
- 集合契約へ加入する（委任状に押印箇所があり、廃止には総務省の協力が必要）。
- 接種責任医師名、ワクチン保管管理責任者等の必要情報をV-SYS上で登録する。
（※委任状に上記情報を記載する様式を添付し提出頂く。）
- ディープフリーザーの手配
- ワクチンの必要量等をV-SYS上に登録する。

- ＜最終準備＞ ディープフリーザーを設置し、ワクチンの納品リハーサルを実施。
- ＜接種本番＞ ワクチン接種を実施。実績報告。
- ＜費用請求＞ 費用請求を行い、後日、入金を確認。

職域接種の準備工程のフロー図（暫定版）



会場における人員確保について

医師・看護師等の医療職の他、会場運営のスタッフ等、必要な人員を企業や大学等が自ら確保いただく必要があります。

＜具体的に必要な人数について（例）＞

- ・接種人数：400人/日　・接種時間：8時間（9時～18時※1時間休憩）
- ・3レーン設置　15人程度/1レーン/1h
- ・医師2名（問診）、看護師6名（接種3、予診票2、希釈1）事務職6名（受付2、誘導2、消毒等の対応2）
会場責任者1

準備するもの、接種場所等について

会場を設置するに当たっては、接種場所・導線等についても企業や大学等が自ら確保いただくとともに、各種物品を確保いただく必要があります。武田／モデルナ社ワクチンについては、納品先の事業所でワクチンを保管の上、接種することになりますので、御留意ください。

＜具体的な準備（例）＞

- （1）（医療機関でない場所で接種を実施する場合）医療法上の開設届け
- （2）会場レイアウトの作成、導線確認（次ページ参照）
- （3）卸売販売業者立ち会いのもと、ワクチンの配送訓練の実施
- （4）消毒用アルコール綿、体温計、救急用品、針捨て容器、使い捨て手袋等の必要物品の用意　　など

事務局で実施すること

企業において社内連絡体制・対外調整役を確保し、医療機関や都道府県等との連絡調整等を行っていただく必要があります。実際に接種を担当する医療機関等との役割分担を確認しつつ、円滑に接種会場を運営できるようにお願いします。

＜具体的に対応する必要がある事項（例）＞

- （1）従業員等のうち、接種を希望する者の把握、必要なワクチン量の算定
- （2）スケジュール設定（接種計画の作成）
- （3）会場運営にかかる企画・全体調整（医療機関、都道府県、ワクチンを配送する卸売販売業者等との連絡調整などを含む）
- （4）集合契約への加入等の行政手続き
- （5）医療機関と連携しつつ、予防接種に係る費用の請求

職域接種にあたり国で提供するもの

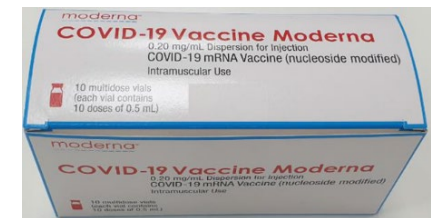
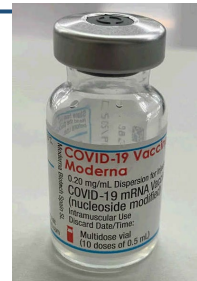
ワクチン保管用の冷凍庫

- (1) -20°C の冷凍庫と保管温度の記録計（データロガー）をご提供します。
- (2) 武田/モデルナ社ワクチンが最大2,400回接種分（バイアル単位で240本分）を保管できます。
- (3) 使用後、返却いただき、他社の接種時に再利用しますので、大切にご使用ください。



武田/モデルナ社ワクチンについて

- (1) 職域接種で使用するワクチンは武田/モデルナ社ワクチンとし、国から卸を通じて配送いたします。100回分を1単位として流通します。
- (2) -20°C で冷凍された状態で配送され、使用前に解凍が必要です。
- (3) 武田/モデルナ社ワクチンの基本情報
効能効果：新型コロナウイルス感染症の予防
接種対象者（年齢）：18歳以上
用法・用量：筋肉内に接種（2回）
接種間隔：4週の間隔
接種不適当者：本剤の成分に対し重度の過敏症の既往歴のある者 等
貯蔵方法： $-20\pm 5^{\circ}\text{C}$ 、遮光



接種用の針・シリンジ

- (1) ワクチン接種に使用する、針及びシリンジについても、国からご提供します。
- (2) 針については、100本が1箱ずつ（83～118×93～113×75～93のサイズ）、シリンジについても、100本が1箱ずつ（126～380×120～378×68～150のサイズ）で配送されますので、針・シリンジの在庫を置くスペースも考慮いただくようお願いします。
※単位はいずれもミリメートルで、目安です。



必要な準備

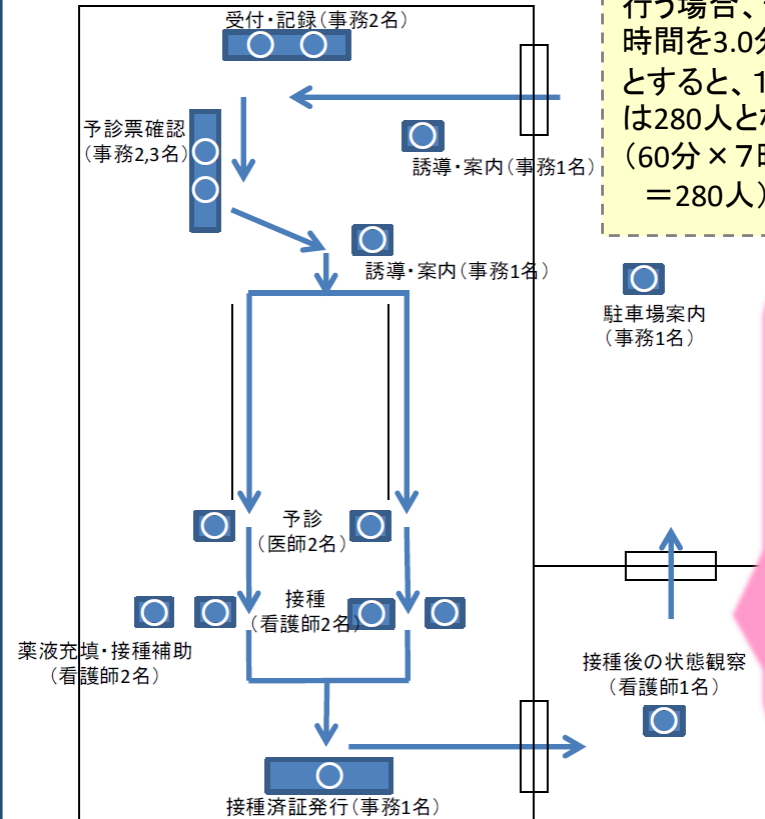
- 会場の確保 ※医療機関でない場所を接種会場として用いる場合は、診療所開設の届出等が必要
- 運営方法の検討：直営／委託、運営管理責任者の明確化、予約受付方法、応急対応の方法 等
- 従事者の確保
- ワクチン等の配送先の登録：V-SYSに配送場所、担当者名、担当者連絡先等の情報を登録
- 必要物品の確保・保管

当日の流れ

以下のうち、医師が必須なのは③予診のみ

- ① 受付**
検温、身分証明書の確認、予診票記載の案内
- ② 予診票確認**
記載項目の抜け漏れ・不備のチェック、（2回目接種の場合）接種間隔や1回目接種ワクチン種別の確認
- ③ 予診（医師）**
体調や持病を確認する等必要な診察を接種前に行い、予防接種を受けることが適当でない者または予防接種の判断を行うに際して注意を要する者に該当するか否かの確認
- ④ 接種（看護師等）**
薬液を充填する者（薬剤師等）も別に配置が必要
- ⑤ 接種済証の交付**
接種したワクチンのワクチンシールを接種済証に貼用し、接種日・接種場所を記載する
- ⑥ 接種後の状態観察**
アナフィラキシーや血管迷走神経反射等の症状が生じることがあるため、一定期間観察を行う

会場設営のイメージ



1会場あたり2列体制で接種を行う場合、予診から接種までの時間を3.0分、実施時間を7時間とすると、1日あたりの接種人数は280人となる
 $(60分 \times 7時間 \div 3.0分 \times 2列 = 280人)$

・ **少なくとも15分間**は被接種者の状態を観察
 ・ 重いアレルギー症状を引き起こしたことがある方、過去に採血等で気分が悪くなったり失神等を起こしたことがある方については**30分程度**、状態を観察する必要があるため、状態観察ができるスペースの確保が必要

ツインバード社

- (1) 商品名 (品番)
ディープフリーザー SC-DF25WL
(武田モデルナワクチン輸送標準機器と同じ)
- (2) 温度帯
設定温度 : $+10^{\circ}\text{C}$ ~ -40°C (1°C 刻みで温度設定可能)
- (3) サイズ・重量
内容量 : 25リットル、重量16.5Kg
外形寸法 : 幅 695 x 奥行 350 x 高さ 460 (mm)
内径寸法 : 幅 335 x 奥行 225 x 高さ 340 (mm)
- (4) ログ情報
データ読み込みインターフェース : Bluetooth 5.0
スマートフォンで温度データ読み込み (iOS/Android対応)
※電池は約180日を目安に交換
- (5) 電源
壁コンセントから : SC-AD70 ACアダプター
車載時 : シガレットプラグケーブル (3m、DC12V)
※分岐ソケットや二股コンセント、又は延長コードは使用しないこと。
- (6) 設置場所
水平な場所に、蓋を上にして設置すること。
水のかからない場所に設置すること。
風通しがよく湿気の少ない場所に設置すること。
付属のマットを敷いて使用すること。
吸排気口は壁や障害物から20cm以上離して設置すること。
直射日光の当たらない場所や埃の少ない場所に設置すること。
- (7) お問い合わせURL : <https://www.twinbird-ec.jp>
お問い合わせ番号 (フリーダイヤル) : 0120-28-4625
- (8) 停電時
停電時 -20°C から -15°C までの時間 : 約25~30分

ディープフリーザー25L SC-DF25WL

主な特徴

- 軽量・コンパクト・可搬型
- 1°C 刻みの温度設定
- ノンフロン・CO2排出ゼロ
- 低消費電力



付属品：ロガー

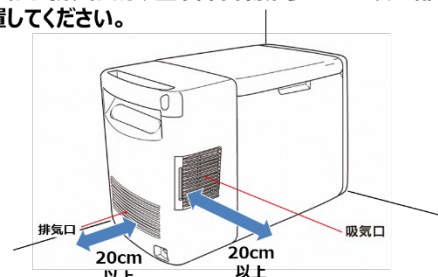


付属品：ACアダプター



設置場所

- 吸気口・排気口は、壁や障害物から20cm以上離して設置してください。



※注)仕様は予告なく変更される場合があります。ご注文前にご確認ください。